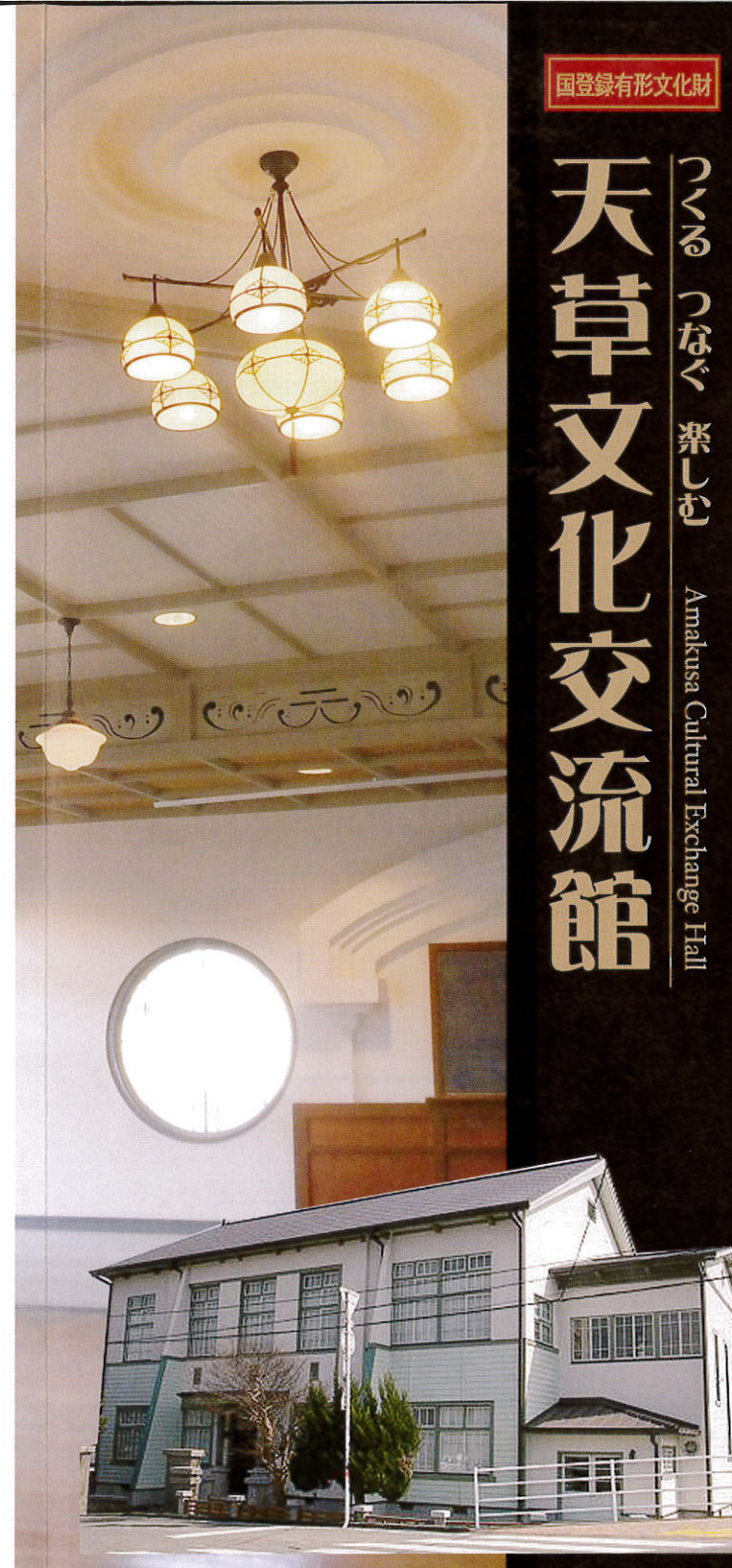


# 天草文化交流館

つくる つなぐ 楽しむ

Amakusa Cultural Exchange Hall



- 開館時間 …… 午前 9 時～午後 5 時
- 休館日 …… 月曜日(月曜日が祝日の場合は開館) 祝日の翌日 12月29日～翌年 1月 3日
- 入館料 …… 無料
- 交通アクセス

熊本 本渡バスセンター 車で5分  
バスで140分

熊本 三角港 本渡港 車で5分  
電車で50分 船で60分

熊本 天草空港 車で10分  
飛行機で20分

福岡 天草空港 車で10分  
飛行機で35分

長崎 口之津港 鬼池港 車で20分  
バスで120分 船で30分

**天草文化交流館**  
〒863-0017  
熊本県天草市船之尾町8番25号  
TEL/FAX 0969-27-5665



▲ 2階展示室



▲ 1階展示室・陶芸体験室

沿革・特徴

天草文化交流館は、旧天草教育会館として昭和10年に天草教育会の教育研究活動や天草出身の教育者の育成を図る目的で建てられた洋風建築物で、永きに渡り天草の教育振興を推進する拠点施設としての役割を果たしてきました。

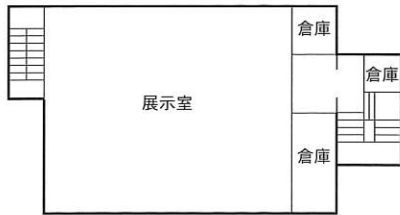
平成18年3月には、その独特な西洋風の建築が、昭和初期の高度な建築技術等を知ることができる貴重な建造物として認められ、国の登録有形文化財として登録されました。



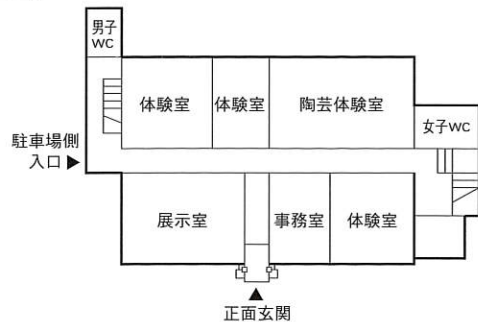
天草市では、この建物を保存するとともに、伝統工芸・民芸の体験と技術の伝承を促進する目的で改修工事を行い「天草文化交流館」として平成20年4月1日に開館しました。

館内のご案内

2階 展示室(会議・研修会・展示会等に利用可)



1階 天草の伝統工芸の展示室・体験室・事務室



天草には守り続けたい宝物がある

# 天草の 伝統工芸

世界にひとつだけの宝物を作ろう!  
天草文化交流館では  
伝統工芸の製作体験が  
楽しめます



## 天草陶磁器

「天下無双の上品」日本一!

天草の陶石は平賀源内が「天下無双の上品」と評したように、質・量ともに日本一との定評があり、焼き物の原料として約300年前から利用されています。天草には多くの窯元があり「天草陶磁器」は国の伝統的工芸品として指定を受けています。



## 天草バラモン凧

「ブーンブーン」となる

天草バラモン凧は、江戸時代の初期、ポルトガルの宣教師とともに伝えられたと言われています。細い竹ひごを巧みに組み合わせて作られ「うなり」という音を付けるのが特徴です。風を受けて大空に舞うと「ブーンブーン」という大きなうなりをあげます。県の伝統的工芸品として指定を受けています。



## 天草手まり

天草四郎も恋人に贈った?

天草地方に伝わる手作りのまり。以前は芯にヘチマや海綿・ゼンマイなどを使い、それを真綿でぐるぐる巻きにして遊ぶのではなく、天草四郎が恋する女性に贈ったと言われています。手にして遊ぶのではなく、伝統の美しさから、飾り物や観光土産品として喜ばれています。



## 天草土(ど)人形

天草島原の乱の後には

天草土人形は、享保2年(1717年)に作り始めたと言われています。原型から型どりし、素焼きの後彩色したもので、型は100種類ほどありますが、中でも山姥は天草島原の乱後、キリシタン弾圧の時代には、聖母マリア像として隠れキリシタンに信仰されたといわれる人形です。



## 天草押し絵

立体感のある細工が美しい

天草押し絵は、江戸時代から作られており、花鳥・人物などの形を厚紙で作り、これを布でくるみ、中に綿をつめて高低を付け板などに張り付けて仕上げる布細工の一種です。彩りが美しく家の新築やお店の開店の際に壁掛け等の贈答品として広く喜ばれています。



## 天草竹細工

質のよい真竹を素材にして

天草の竹細工は、250年以上の伝統があり、昭和30年代まで生活用品、農具として広く使用されていました。現在では化学製品の普及により需要が少なくなりましたが、質の良い真竹を素材にした「天草竹細工」は県の伝統的工芸品として指定を受けています。

製作体験講座のご案内

- 年間 年間を通しての講座
- 定期的 定期的に行う講座
- 予約OK! 予約をいれるとOK!な講座